

## 症例 1

74歳 女性

診断名: 狭心症

術式 : 冠動脈バイパス術

既往 : 慢性心不全

## 症例検討時評価(第5病日)

【バイタルサイン】血圧: 98 / 58mmHg  
心拍数: 92回 / 分

腹部

【視診】全体的に膨らんでいる

【触診】全体的にやや硬め

【聴診】腸蠕動音は減弱している

【排ガス・排便】なし

【栄養】経鼻経管栄養(液体栄養剤300ml×3)

【経鼻胃管】EDチューブにて12指腸まで挿入

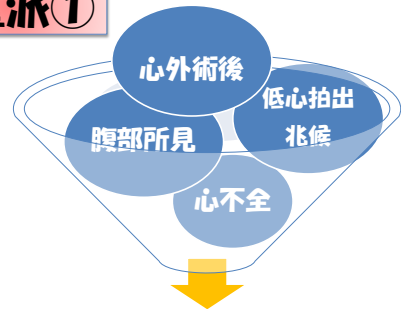
【自覚症状】腹部違和感あり

## 早期派①



離床により体を起こす事で  
胃食道逆流を予防できる

## 慎重派①



心外術後は腸管運動が低下してしまう

森沢知之, PTジャーナル2012 9月:798-799

## 早期派反論①

Q1 心外術後は腸管運動が低下するよね?

A1

「心臓バイパス術後の循環不全患者  
でも腸管吸収能は維持される」

Berger MM, et al : Crit Care Med, 28:2217-2223, 2000

心外術後でも早期の離床は可能である

## 慎重派反論①

Q1 離床で体を起こせば胃食道逆流は軽減  
するでしょ?

A1

腹部の評価(視診、触診、聴診)

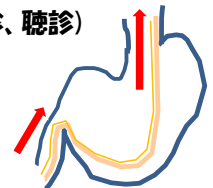
腸管運動低下疑い

胃への逆流

離床にて腹圧上昇

胃食道逆流

誤嚥性肺炎



経管栄養終了後、十分に時間を空けるべき